

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス大連			
○保護者評価実施期間	令和 6年 6月 1日		～	令和 7年 5月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和 7年 4月 28日		～	令和 7年 5月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 5月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	最新の脳科学理論に基づいた運動療育を提供している	体操教室やスポーツクラブではないので、運動に対して結果にコミットすることはせずプロセスを大事に支援を行っている。その中で小さな成功体験の積み重ねにより、嫌いだっ活動が好きになる等もあり視野の広がり、拘りの緩和もみられる。また、学習支援時に集中できないタイプの子も間に運動を挟むことにより学習再開後の集中力アップもみられる。	全ての職員がスキルアップを怠らず支援にあたっていく
2	一人ひとり個性に寄り添う支援を行っている	一人ひとりの得意不得意・興味嗜好を深く理解し、得意・好きなことは最大限伸ばしつつ苦手分野へも興味が向くよう促している。自己肯定感の向上が大前提として個々に合わせた支援を行う。	個々の特性を理解し一人ひとりに寄り添った支援を継続し、ブラッシュアップしていく
3	保護者様のご希望に即座に対応し寄り添う姿勢	急遽の時間変更や利用希望、送迎場所の変更、営業時間前のお迎えや営業時間後のお送り等、レスパイトケアや保護者様の急な休日出勤へも対応できる体制を整えている。	今後もご要望にお応えできるよう体制を整えていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や父母の会活動等保護者同士の交流や、兄弟同士の交流ができていない。	共働き家庭が多く時間を取り辛いと思われるため、積極的に関きかけを行ってこなかった。	兄弟の参加は比較的実現しやすいので善処していく。保護者会についてもご意見を聴取し実現に向けて取り組んでいく。
2	地域との交流が希薄	事業所イベントに地域住民を招待したり、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないため。	今後は地域に開かれた教室運営を心掛けていく
3			